

教育理念・目的



看護学の理論および応用を教授研究し、その深奥を

きわめて文化の進展に寄与するとともに、高度専門職業人、看護学教育者および看護学研究者等の人材を育成し、もって人々の健康と福祉の向上に寄与することを目的とします。

博士前期課程の教育目標

1. 看護の特定分野における卓越した看護実践能力を育成する。
2. 保健医療福祉の連携・協働を促進するための総合的な調整能力を育成する。
3. 看護サービスの質向上のための教育的役割が果たせる能力を育成する。
4. 看護実践の質向上に寄与する研究に必要な基礎的な能力を育成する。

こういう人を求めています

- ・看護学の学修及び看護の実践から生じた問題意識を持ち、大学院で学修・研究する明確な意思と、そのための必要な学力がある人。
- ・看護実践の開発・改善に向けて学究的に取り組もうという意欲を持った人。
- ・看護学と看護実践を高く価値づけ、看護界のリーダーとして活動する意欲を持った人。

カリキュラムの特色

本研究科は、看護の各専門分野の高度看護実践者、看護学教育者、看護学研究者を育成するために、専門看護師コースと研究コースを置き、高度な実践能力と実践の場における研究能力、及び看護の理論とその構築について探求できるように教育課程を編成します。

博士前期課程

修業年限：2年

学位：修士（看護学）

【定員10名】

博士後期課程の教育目標

1. 高度看護実践者として、看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革を志向した研究が実施できる能力を育成する。
2. 高度看護実践者として、看護実践の知の体系化と発展に寄与する研究を自立して実施できる能力を育成する。
3. 高度看護実践者として、高度な看護実践力と研究力を基盤に、専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる能力を育成する。

こういう人を求めています

- ・看護実践や保健医療の改革を志向し、論理的思考と柔軟な発想力を有している。
- ・基礎的な研究能力を有し、自立して研究に取り組む意欲を有している。
- ・質の高い看護実践者、看護教育者を強く志望しており、博士後期課程における学修の基盤となる専門知識・技術ならびに看護指導力を有している。
- ・看護学の発展に必要な学際的な交流ができるコミュニケーション力や関係構築力を有している。

カリキュラムの特色

臨床開発看護学・地域包括ケア看護学・母子育成看護学の各科目における看護実践の探究だけでなく、3つの領域を相互に関連させながら学ぶことで広域的な視座から新たな看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革に向けた実践看護学を創造・発展させることを目指しており、科目構成は、共通科目・専門科目・演習科目・研究科目となっています。

博士後期課程

修業年限：3年

学位：博士（看護学）

【定員3名】